



不二サッシグループ、リサイクル率100%「Reサッシ R100」 再生可能エネルギー製錬「Reサッシ グリーン」を新投入 ～サステナブル建材で業界をリード～

2025年5月14日

不二サッシ株式会社(本社:神奈川県川崎市、社長:江崎 裕之)は、「不二サッシグループ サステナビリティビジョン2050」に基づき、不二サッシグループで国内製造販売するサッシとして、アルミリサイクル率を100%に高めた「Reサッシ R100」と、リオテイント社グリーンアルミ「RenewAl™」のみで製造する「Reサッシ グリーン」を販売開始いたします。

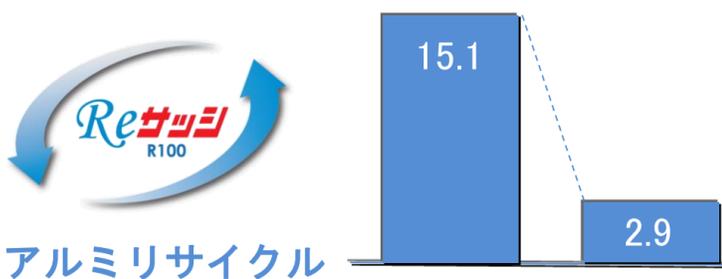
【概要】 世界的に脱炭素へ向けた取り組みが加速する今日、建築業界では低炭素建材の需要が急速に高まっています。不二サッシグループはその社会的要請に応えて脱炭素化をリードするために、1990年代にスタートしたリサイクル事業「リサッシ」の系譜に連なる第三世代として、2025年に再生アルミ・グリーンアルミによる「Reサッシ」を展開します。

Reサッシ R100

【低炭素×サーキュラーエコノミー】

アルミ市中回収材およびリターン材のみを使用。

原材料～製造段階のCO₂排出量は
型材1kgあたり2.9kg-CO₂eq



原材料～製造段階CO₂排出量
リサイクル未使用品比81%削減
※各数値は自社計算による

Reサッシ グリーン

【低炭素(再エネ)×バージン材】

リオテイント社のグリーンアルミ「RenewAl™」のみを使用。

同社のアルミ製錬Scope1,2に関する
証明書付、4.0kg-CO₂eq/kg保証



製錬所CO₂排出量
世界平均比66%削減

【環境とコストの両立】

環境対応：建築業界の脱炭素ニーズに応える製品構成へ進化
(原材料～製造段階排出量の第三者認証(EPD)取得も予定)

コスト：独自技術により従来品と同価格帯で販売(Reサッシ R100)

不二サッシグループは今後も持続可能な建材開発を推進し、サステナブルな社会の実現に貢献します。

以上

[▼お問い合わせ](#)



FUJI SASH

不二サッシグループ 低炭素建材「Reサッシ」について

(参考資料)

2025.5.14

2025 Reサッシ

1990年代に投入したサッシ交換「リサッシ」は2000年代に建築改装「Resash」に変化を遂げ、2025年 再生アルミ・グリーンアルミによる第三世代「Reサッシ」を市場投入します。



ReサッシR100

リサイクルアルミ100%「ReサッシR100」の製造工程までに排出されるCO₂量は、アルミ型材1kgあたり2.9 kg-CO₂eqとなり、リサイクル未使用品に比べ81%の削減効果があります。

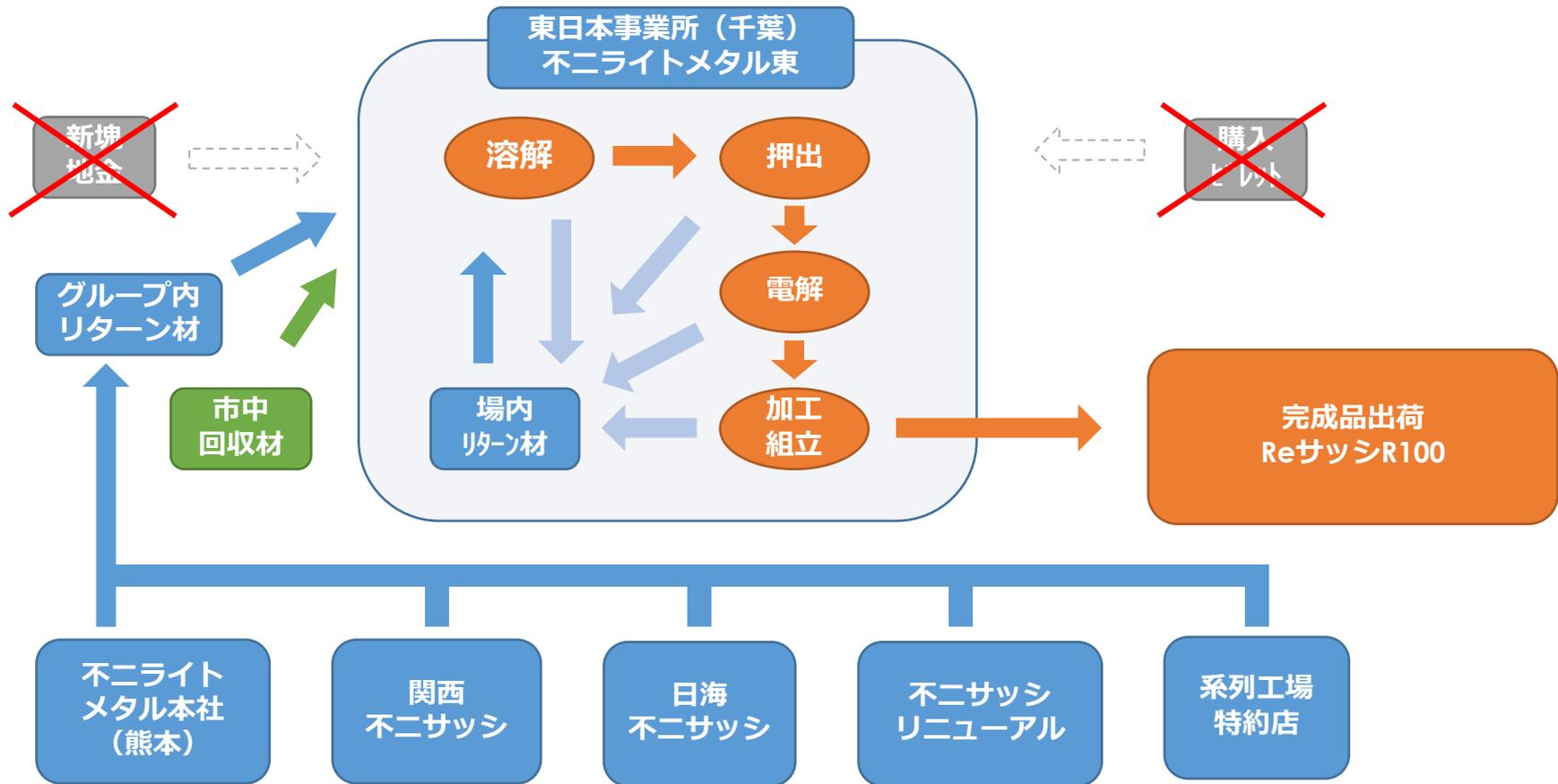


アルミ1kgあたりのCO₂排出量削減効果（自社計算値）

アルミ地金	→	Reサッシ R100
15.1 kg-CO ₂ eq		2.9 kg-CO ₂ eq
		(▲81%)

ReサッシR100

リサイクルアルミ100%「ReサッシR100」は新塊の地金・ビレットを使用せず、リターン材（場内・グループ内）と市中回収材からサッシを生産します。



Reサッシグリーン

グリーンアルミ100%「Reサッシグリーン」にはリオティント社発行の第三者認証による原材料CO₂排出量証明書が付属します。アルミ製錬に関するCO₂排出量（Scope1,2）はアルミ1kgあたり4.0 kg-CO₂eq以下が保証され、世界平均に比べ66%相当の削減効果があります。



原材料アルミ1kgあたりのCO₂排出量削減効果

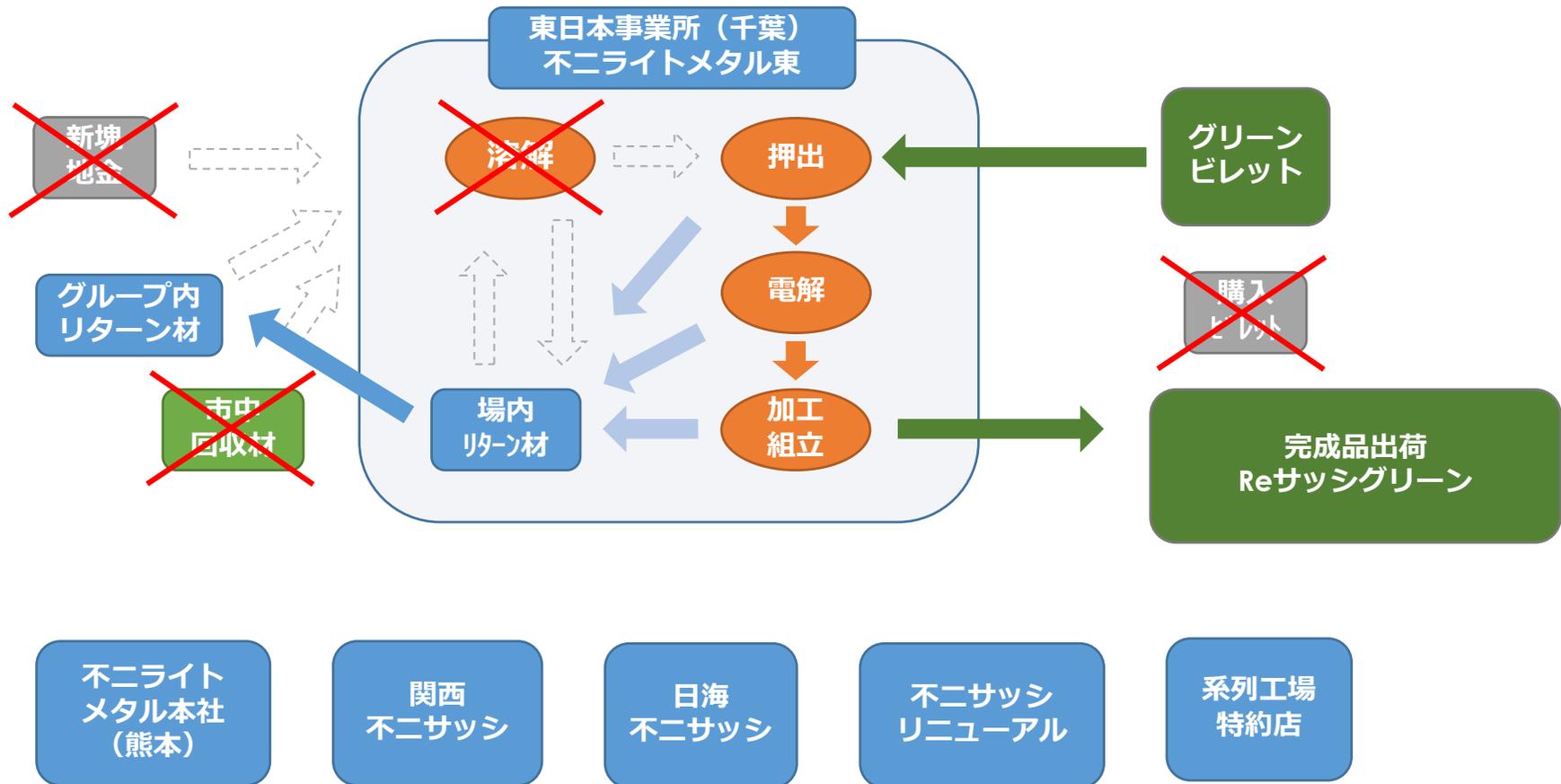
世界平均
約12 kg-CO₂eq

→

Reサッシグリーン用ビレット
4.0 kg-CO₂eq 以下
(▲66%)

Reサッシグリーン

グリーンアルミ100%「Reサッシグリーン」はリオテント社（ニュージーランド）から購入する「RenewAl™」などの低炭素アルミビレットのみを使用しサッシを生産します。



スケジュール

2025年5月より場内リターン材の集結を開始し、6月よりR100ビレットの鋳造を開始します。
下期よりR100サッシ「ReサッシR100」生産に移行します。

	2025 1Q	2Q	3Q	4Q
場内リターン材 プレス稼働				
場内リターン材 配送開始				
R100ビレット 鋳造・押出開始				
ビル建材 「ReサッシR100」 生産開始				

※生産開始時はR100移行前の
滞留在庫との混合でスタート